

## 設 立 趣 旨 書

### 1 趣 旨

今般、高齢者による人身事故、追突事故が頻繁に起こり、免許返納制度を推奨する声をよく聞くようになりました。反面、過疎地域や交通空白地での高齢者は車がなければ買い物や病院など日常生活が非常に困難であり、冬場の灯油購入など重要な問題です。公共交通機関は減り、タクシーが撤退する地域も増えております。バス停まで数キロ歩かなくてはならない地域も珍しくなく、タクシーを利用するにも交通空白地がゆえに目的地までの距離が遠く運賃は高額になり、車両も少なく予約も取れない現状があります。そこで私達じもと交通は地域に対応した移動手段を構築し、地域や行政と協力を図り、拡大する交通弱者、移動弱者、買物弱者が安心して生活出来る社会の実現を目的とします。

一般旅客自動車運送、特定旅客自動車運送、自家用有償旅客運送、ボランティアタクシー、おつかいタクシーにおいては、地域の様々な事情に対応した事業を展開し、交通弱者、移動弱者、買物弱者を減らせる活動したいと考えます。

貨物軽自動車運送事業、無人航空機においても、地域の事情に対応できる輸送を考え、交通弱者、移動弱者、買物弱者の手助けになる活動を行いたいと考えます。

空家問題解決では、片付けや再利用、倒壊の監視、ひいては移住促進を行いたいと考えます。

登録支援機関については、外国人を受け入れる団体、会社、個人に対し登録支援体制を構築し、産業の活性を図る活動を行っていききたいと考えます。

イベント運営補助については、地元の活性を図る為、様々な催しを行いたいと考えます。

労働者派遣事業については、経験豊富な中高年や地域で活躍できる人材を確保し、人手不足の解消を行いたいと考えます。

イベント運営事業については、人が集まるイベント、地域の特性を利用したイベントなど、地域の活性につながる催しを行いたいと考えます。

施設設備管理については、施設や道路等維持管理を、これまでマンパワーで行っていた方の高齢化にかわる人手不足の解消を行いたいと考えます。

社会福祉においては、水泳をとおした障害者自立支援。水泳は体に負担がかからないことから高齢者や障害をおもちの方の運動として適し、一方では全身を動かすことから子供にも適しています。海外における水泳は一般とされない国もあり、普及活動を行いたいと考えます。また子供の部活動が廃止傾向にあり、運動部文化部の今後の活動や提案も行っていききたいと考えます。くわえて孤独死、いじめ、DVや不法投棄など、早期発見、近隣の協力・情報を共有し問題解決にむけた活動や行政へのはたらきかけを行いたいと考えます。

環境保全では、きれいな海や山を守る活動を行いたいと考えます。

このような活動を行うにあたって、公平かつ透明性の高い運営を行い、社会的信用を得て幅広く活動していくうえで法人化は急務であると考えます。

## 2 申請に至るまでの経過

2019年に過疎地における交通空白地有償運送を知り、鳥取市に相談に行きましたが、一日2本ではあるがバスが運行していることから対象にならないことを知りました。当時、高齢者事故多発が取り上げられており、周辺も数年前から実家や親戚の病院送迎や買い物のサポートなど行っておりました。2024年、地元のバス路線が全線撤退に伴い、行政が主導する交通空白地有償運送がスタートしたことをきっかけに、その地域で同様の問題をかかえる個人や自治体など大きな単位で問題解決に取り組みたいと考えるようになり、幅広く仲間やボランティア、寄付を受け入れられる体制を整えたいと考え、NPO法人化への検討を始めました。令和6年5月に趣旨に賛同してくれる方へ説明を行い、令和6年6月30日に設立総会を開き、今日の申請に至りました。

令和6年 7月 1日

NPO法人じもと交通  
設立（代表）者 氏名 濱中茂宏